

スマートフォン 使うときは周りを見よう

提案のきっかけ

(1)みなさんは外へ出かけている時にスマホをいじりながら歩いて転んだり他の人とぶつかりそうになったり、ぶつかったりしている人を見たことがあるのではないのでしょうか。私たちにはあります。歩きスマホについて調べてみると、宮崎県の公式ウェブサイトには令和2年から6年までの「携帯電話等有無別死亡事故率比較図」が載っています。比べてみるとスマホを使用していないときの事故は0.71%、スマホを使用時の事故は、2.63%で約3.7倍になっていて、スマホが原因で事故が起こっている場合が多いです。

解決したい課題

(2)スマートフォンに夢中で自分や周りの人が転倒して怪我してしまったり、自分で自覚しなくても他の人に迷惑をかけることがあったり、自分たちや周りの人が事故に巻き込まれてしまう可能性があるため以下のことを提案します。

2. 提案

具体的な提案内容

(1)1つ目の対策は安全を確認してから人の迷惑にならない場所で立ち止まってスマホを見ることです。道の真ん中でスマホを見たり人の迷惑になるようなことはしないことです。

(2)歩きスマホをしていると周りの人が避けなければならないので、安心して歩けません。みんなが気持ちよく通行できるようにスマートフォンは人の迷惑にかからないような公園のベンチや道の端で立ち止まって使うことが大切です。

効果 このようなことを心がけることで事故や怪我を減らして、自分だけではなく周りの人の安全を守ることができます。

3. まとめ

歩きスマホは自分や周りの人を転倒や事故に巻き込む危険な状況にさせる場合があります。使うときは立ち止まることを意識して公園のベンチに座ったり、安全な場所で立ち止まって使用するなど、一人ひとりが安全な行動を心がけることが大切です。

参考資料<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/soukou/sumaho.html>